

G2神戸新聞杯

<最終見解>

直線が長い 2000m 以下での直線スピード能力を重視するレース。

本命はビキニボーイ。

2 走前が驚きのパフォーマンス。久々の芝。
かつ重賞級のメンバーを相手に不利な最内枠で上り最速の 5 着。

前走は結果的に反動が出てしまったことと、直線が短いコース。
再びの最内枠で能力発揮できず。

ハーツクライの影響で外枠の広いコースで
スピードに乗せた方が力を発揮できる可能性も高く、
キャリアを重ねて上昇する血統。

このオッズの程度の確率しか走れない馬ではありません。

G2オールカマー

<最終見解>

非根幹距離適性が問われるレース。
土曜の馬場傾向ではタフな差せるタイプを重視。

本命はマテンロウレオ。

4 走前の京都記念も非根幹距離巧者として本命にしましたが、

勝ち馬が絶頂期のドウデュース。相手が悪すぎました。

また、当重賞はトリッキーなコースで騎手の経験値も重要。
当コースを知り尽くした鞍上も有利。他では戸崎、ルメール、田辺が上位。

アラタも上位騎手。父欧州型。非根幹距離とタフな馬場は歓迎。